

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	結核対策特別促進事業				事業番号	011-236	
担当部署名	健康福祉局	局	保健所	部	感染症対策課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(2)かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実	
			有	取組の方向性	②感染症対策の充実				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—		目標値	—	
			有	現状値	—		目標値	—	
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.8	
	有	取組	検診や予防接種の受診体制の整備						
	寄与するKPI	有・無	指標名	—					
		無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			—					
3	事業開始年度			昭和 26 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度	
4	実施根拠			感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）					

事業の概要

5	事業の実施主体		本庁						
6	事業の対象		堺市民のうち結核に罹患した人				対象数	単位	
							約200	人	
7	事業の目的		・結核の再発・多剤耐性結核を予防するためDOTS事業による確実な治療の推進を図る。 ・結核罹患の多い高齢者や外国出生者等に対する結核予防事業を実施し、あわせて啓発を行うことで結核罹患率を低下させる。						
8	事業内容		・DOTS支援員（訪問看護師、協力薬局等）による服薬支援（DOTS）の実施。 ・ハイリスク者（高齢者や外国出生者等）に対する結核検診や啓発の実施。 ※DOTS…（Directly Observed Treatment Short Course）直接監視下服薬短期療法。 患者の服薬を医療従事者が直接確認し、服薬を支援する治療方法。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容		—						
9	主な支出先		一般社団法人 堺市薬剤師会 ほか						
10	公民連携・協働事業		—						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	結核罹患率（人口10万人対）		目標値	13.5	13.8	13.3	12.3
			実績値	14.9	14.4		
			達成率	90%	96%		
	当該指標を選定した理由		本事業は、結核患者の早期発見、まん延の防止を目的としているため。 ※罹患率…一年間に発病した患者数を人口10万人対率で表したものの。				
	目標値の設定根拠・算出方法		国の「ストップ結核ジャパンアクションプラン」にて掲げる年率7.5%減を目標値として設定。				
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	全患者に対するDOTS実施率		目標値	95	100	100	
			実績値	100	100		
			達成率	105%	100%		
	当該指標を選定した理由		全患者にDOTSを実施することで、確実な治療促進を図っているため。				
	目標値の設定根拠・算出方法		前年度の新登録患者に対するDOTS実施率。国の定める「結核に関する特定感染症予防指針」参照。				

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	結核対策特別促進事業	事業番号	011-236
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量												
事業コスト					※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）							
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
			決算		決算		当初予算		当初予算			
		事業費（a）	4,478		5,800		8,238		6,418		8,665	
		国支出金	3,901		5,103		7,417		5,772		7,586	
		府支出金	0		0		0		0		0	
		市債	0		0		0		0		0	
		その他（ ）	0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0	
		一般財源	577		697		821		646		1,079	
		14	人件費（b）	16,200		16,200		16,800		16,800		17,400
15	年間経費（c）=(a)+(b)	20,678		22,000		25,038		23,218		26,065		
事業費の内訳（単位：千円）												
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	
		医師報酬	R7	決算	0	0	郵便料	R7	決算	36	36	
			R8	予算	88	66		R8	予算	259	259	
		会計年度任用職員報酬	R7	決算	3,016	0	結核ハイリスク者検診	R7	決算	706	0	
			R8	予算	3,089	0		R8	予算	1,540	0	
		期末勤勉手当（会計年度任用職員）	R7	決算	1,169	0	服薬支援（DOTS）業務	R7	決算	282	0	
			R8	予算	1,197	0		R8	予算	385	0	
		謝礼金	R7	決算	601	601	外国人に対する治療・服薬支援員委託料	R7	決算	73	0	
			R8	予算	750	750		R8	予算	250	0	
		普通旅費	R7	決算	144	0	その他（研修会等参加負担金等）	R7	決算	391	9	
			R8	予算	419	0		R8	予算	688	4	
		Ⅳ. 事業の効率性										
		単位当たり経費										
		17	①	新規登録患者数（DOTS実施対象者数）			人	令和6年度		令和7年度		
②	上記①にかかる年間経費			千円	5,436		5,716					
③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	29,384		28,869					
算出についての説明等			前年の新規登録者に対する結核ハイリスク者検診委託料を除くDOTS事業の費用を計上。									
Ⅴ. 評価												
費用対効果に係る所見												
18	令和7年度は、前年より新規登録患者数が増加したため、服薬支援（DOTS）業務などの委託料は増加した。一方で、郵送DOTSや薬局DOTSを有効的に活用することで、旅費等を削減することができ、費用対効果は向上した。											
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）											
19	高齢者や外国出生者等、多様な状況にある患者に対し、治療支援や罹患率の減少のため積極的にアプローチを行った。特にDOTS業務については、患者の状況に応じて協力薬局等におけるDOTSの実施や通訳者の派遣を実施することにより、高いDOTS実施率を達成することができた。 また、日本語教育機関の生徒を対象としたハイリスク層への胸部エックス線検査を行うハイリスク者検診については、日本語教育機関に在籍する生徒を対象に前年度よりも規模を拡大して実施し、予防啓発活動を行う等効果的なアプローチができた。 以上から、本事業は堺市基本計画2025における取組の方向性である「感染症対策の充実」に寄与したものと考える。令和8年度においても、引き続きDOTS業務及びハイリスク層への検診及び指導啓発を行う。											
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）											
20	必要性	■ 高い □ 低い	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和3年度はDOTS実施率が100%に届かなかったものの、それ以降は患者面接時にDOTSの説明を丁寧に行い、DOTSに対する理解を患者から十分に得られていることにより実施率100%を維持できている。患者の服薬管理を行う本事業は結核治療において必要性かつ有効性が高く欠かせないものである。									
	有効性	■ 高い □ 低い										